

講義名	1000010004 英語Ⅱ Cクラス (健康医療学部)						
年度	2024	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	人間健康学科/看護学科			担当教員(単位認定者)	三浦 文恵		

學習目標(到達目標)

日常生活で頻出する言葉やフレーズを学び、コミュニケーション能力の向上と基礎学力の定着を図る。

1. ネイティブスピーカーがナチュラルスピードで話す英語を理解できる。
2. ネイティブスピーカーが日常生活で使う身近な英語表現を使える。
3. ネイティブスピーカーの発想に基づいた表現ができる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している。

評価方法

定期試験の結果をベースに、授業態度、課題の提出状況などを考慮し総合的に評価する。特に、講義に積極的に臨む姿勢を重視する。

講義時使用テキスト

Peter Vincent/Naoko Nakazato/Alan Meadows 著「Speaking of People」南雲堂

資格との関連

実務との関連

留学・通訳・翻訳の実務経験を活かし話をする。

授業概要(教育目的)

主に、基礎文法、リスニング、ライティングの演習を行う。また授業では、会話や話す演習を行い、声を出す事を目的に活きた英語を学ぶ。

課題に対するフィードバック

試験や課題の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

学生へのメッセージ

日頃から英語を聞き、耳を慣らしておくといふ。暮らしの中における英語表記に興味をもち、注意して見るようにしましょう。

授業計画表

[illegible]

講義名	1000010005 英語Ⅱ（再履修）						
年度	2024	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	地域経営学科/人間健康学科			担当教員(単位認定者)	バリー・H・グロスマン		

學習目標(到達目標)

This class will focus on learning English skills through travel videos. It will prepare you for various language situations that might occur either in Japan or overseas. By learning about the places, food, entertainment, shopping and languages of different cultures and what each has to offer, this class will help you overcome fear and anxiety when communicating in a foreign language and when you plan to go overseas.

授業概要(教育目的)

Listening, speaking, reading, and writing will all be practiced for the purpose of effective listening and communication.

卒業認定・学位授与の方針との関連

授業中の参加(participation)不足の場合はその場で注意

評価方法

講義内での積極的な参加(アクティブラーニング法)、宿題、クラスクイズを総合的に評価する。

*講義内での活動の積極的な参加を重点においている。

課題に対するフィードバック

宿願の提出とクイズ結果は授業中でフィードバックする

参考文献

成績詳細:
①課題 & ショートテスト (50%)
②オーラルプレゼンテーション (50%)

講義時使用テキスト

資格との関連

上達するためのモチベーションを持って授業に臨むことが肝要です。積極的に参加することが語学上達の鍵であり、このクラスにもその考え方が反映されています。

学生へのメッセージ

講義中と宿題は積極的に参加し、主体的な立場をとらなければならない。成績は第1日目から評価する。

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	1000019000 心の科学						
年度	2024	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営/人間健康/看護			担当教員(単位認定者)	金地 美知彦		

學習目標(到達目標)

心理学の基礎となる概念、理論、アプローチを理解し、それらが人間の行動と心理プロセスをどのように説明するかを理解する。

授業概要(教育目的)

本講義では、心理学の観点から「心」の基本的なメカニズムについて考えていきたい。心理学の研究によって、「心」の意外な働きが分かってきた。本講義では、知覚、記憶などの認知的な側面から心理学の基礎について概説する。また、人格、知能、発達などから、その人特有の個性を形作る「心」の働きについても学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、学問を修得する基本姿勢を身に付け、教養を深め、地域経営学の基礎を身につけている(地域経営学科)。豊かな人間性が高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身に付け、地域の文化や特性について理解している(人間健康学科、看護学科)。

評価方法

定期試験の成績を中心に、講義中の小レポートも加味し、総合的に評価する。なお、定期試験は、テキスト、ノートなど一切の資料を持ち込み不可で行う。

課題に対するフィードバック

全体の成績評価および定期試験の成績(得点)については、成績発表終了後に金地まで問い合わせれば個別に開示する。

参考文献

角山剛・小西啓史・三星宗雄・渡辺浪二(編著)『基礎からの心理学』お
うふう

講義時使用テキスト

特に指定しない

資格との関連

認定心理士資格申請に必要な科目の一つである。

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	1000024000 社会学						
年度	2024	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営/人間健康/看護			担当教員(単位認定者)	横田 将志		

學習目標(到達目標)

①現代社会の特徴について理解し、説明できるようになる。
②個人と社会の関係性や生活(生き方)の多様性について理解し、さまざまな生き方を選択したり、受け容れたりできるようになる。
③社会の抱える諸問題とその背景を理解し、問題の解決策を考えることができる。

授業概要(教育目的)

社会学は、私たちが生活する社会の仕組みやそこで起こる現象の説明を試みる学問分野であり、非常に幅広い研究対象をもつ。この講義では、社会のさまざまな側面を取り上げ、それを客観的に理解・説明するために必要な能力を身につけ、実社会で直面する多種多様な課題に自ら対応できるようにすることを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、学問を修得する基本姿勢を身に付け、教養を深め、地域経営学の基礎を身につけている(地域経営学科)。豊かな人間性が高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身に付け、地域の文化や特性について理解している(人間健康学科、看護学科)。

評価方法

授業内レポートと期末試験を総合して評価する。

課題に対するフィードバック

授業のなかでICT機器を用いて実施するアンケートや理解度確認のためのミニレポートについては、リアルタイム、もしくは次の授業で結果を紹介したり、特徴的な意見に対してフィードバックしたりする。

参考文献

講義時使用テキスト

奥村隆編『はじまりの社会学——問いつづけるためのレッスン』ミネルヴァ書房、2018年。

資格との関連

実務との関連

学生へのメッセージ

社会学は、私たちの暮らしに関わるさまざまな面を分析する学問である。そのため、普段の生活のなかでも、さまざまな事象に興味・関心をもつよう心掛けてほしい。

授業計画表

[illegible]

講義名	1000026003 海外事情（タイ文化）						
年度	2024	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	地域経営/人間健康/看護			担当教員(単位認定者)	横田 将志		

學習目標(到達目標)

① タイの社会や文化について理解を深め、説明できるようになる。
② 日本はタイからどのように見られているのかについて知り、自らの暮らす社会を客観的に把握できる能力を獲得する。
③ 国際社会で求められるコミュニケーション・スキルとコモンセンスを身につける。

授業概要(教育目的)

タイは、日本人が、光やビニールなど最も頻繁に持ち運ぶ国の一つである。近年は、日本に訪れるタイ人の数も急激に増えつつある。しかしながら、日本では、タイに親したイメージを抱く日本人が、まだ多くいる。反対に、タイでは、アニメをはじめとする日本のポップカルチャーが広く浸透し、日本に興味・関心を抱くタイ人も数多く存在するが、実際の日本社会を正確に把握・理解している者はまだ少ない。本講義では、これらの点を踏まえて、タイの大学生とのオンラインでの交流等も交えつつ、日本とタイの相互理解を深めていく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、ビジネスに必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている(地域経営学科)。豊かな人間性が高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけて、地域の文化や特性について理解している(人間健康学科、看護学科)。

評価方法

授業内での発表やレポートを総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

発表やレポートなどの取り組みに対してアドバイスをを行うとともに、学生と教員が一緒になって改善策を考えていく。

参考文献

授業のなかで適宜紹介する。

講義時使用テキスト

なし

資格との関連

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	4020001000 看護教育のための生物基礎						
年度	2024	開講時期	前期前半	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	高橋 正知		

學習目標(到達目標)

1. 生命科学と生命観について基礎的知識を述べることができる。
2. 細胞、生殖、発生および生物と環境のかかわりなどの基礎的知識を述べることができる。
3. 生命体と地球環境との関連などの知識をもとに生命観について述べることができる。

授業概要(教育目的)

看護・医療の基礎科学として生命現象の共通性や特異性、すなわち細胞・秩序・動的平衡・エネルギー・恒常性・反応性・成長と生殖・遺伝・適応による進化などを追及する。高校で生物を履修していない学生にも理解しやすいよう、平易で明快な表現を用いた授業とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

科学的な根拠に基づく基礎的看護ケアを実践し、多くの医療関係職種と連携・協働して看護の役割を判断し行動する能力を身につけている。

評価方法

定期試験(筆記)により評価する。

課題に対するフィードバック

ミニテスト、まとめのテストは解説し、解答を提示する。

参考文献

テキスト以外に授業に必要な資料は印刷して配布する。

講義時使用テキスト

系統看護学講座 基礎分野 生物学、医学書院

資格との関連

実務との関連

高橋正知担当分として大学病院勤務の実務経験を活かし、基礎生物学について教授する。

学生へのメッセージ

基礎的な知識を十分身に付けるように予習と復習をしてください。ミニテストおよびまとめのテストを行い、知識を整理する機会を設けます。

授業計画表

[illegible]

講義名	4020009000 病態学Ⅱ						
年度	2024	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	高橋 正知		

學習目標(到達目標)

消化器(消化管、肝・胆・膵)疾患、血液・造血器疾患およびアレルギー・膠原病疾患について、以下の3点を到達目標とする。

1. 各系統別疾患の医療の動向を説明できる。
2. 主な疾患の基礎的な事項について説明できる。
3. 血液・造血器疾患、アレルギー・膠原病疾患での看護実践に必要な患者の身体的特徴をせつめいできる。

授業概要(教育目的)

疾病の原因、変化の過程、転帰についての知識を習得することで、医学的根拠に基づいた看護に從事できる能力を身につけることを目的とする。病態学Ⅱでは消化器病(消化管、肝・胆、胆嚢、血液・造血器疾患、アレルギー・膠原病疾患の特徴や成り立ち、および症状・診断・治療・予後について)を教養として扱い、演習として貧血から考える症例、発熱から考える症例について検討を行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

科学的な根拠に基づく基礎的看護ケアを実践し、多くの医療関係職種と連携・協働して看護の役割を判断し行動する能力を身につけている。

評価方法

定期試験(筆記)により評価する。

課題に対するフィードバック

課題(ワークシート)を添削し、次週の講義時に返却する。

参考文献

講義時使用テキスト

- | | | |
|---------------|--------|-----------------------------|
| 1. ナーシンググラフィカ | 疾患と看護3 | 消化器 (MCメディカ出版) |
| 2. ナーシンググラフィカ | 疾患と看護4 | 血液/アレルギー・膠原病/感染症 (MCメディカ出版) |

資格との関連

実務との関連

高橋正知担当分として大学病院勤務の実務経験を活かし、血液疾患の総論と各論について教授する。
田中 完担当分として大学病院勤務の実務経験を活かし、体温測定、発熱の病態および不明熱について教授する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1 消化器:消化管疾患の病態生理	消化管疾患の病態生理に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直し要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
2	2 消化器:消化管疾患の症状・徴候	消化管疾患の症状・徴候に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直し要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
3	3 消化器:消化管疾患の理解	消化管疾患の理解に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直し要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
4	4 消化器:肝・胆・膵疾患の病態生理	肝・胆・膵疾患の病態生理に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直し要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
5	5 消化器:肝・胆・膵疾患の理解①	肝・胆・膵疾患に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直し要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
6	6 消化器:肝・胆・膵疾患の理解②	肝・胆・膵疾患に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直し要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
7	7 血液・造血器:血液・造血器疾患の症状・病態生理	血液・造血器疾患の症状・病態生理に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直し要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
8	8 血液・造血器:血液・造血器疾患の検査・診断	血液・造血器疾患の検査・診断に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直し要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
9	9 血液・造血器:血液・造血器疾患の理解①	血液・造血器疾患に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直し要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
10	10 血液・造血器:血液・造血器疾患の理解②	血液・造血器疾患に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直し要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
11	11 アレルギー・膠原病:免疫のしくみとアレルギー	免疫のしくみとアレルギーに関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直し要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
12	12 アレルギー・膠原病:アレルギー疾患の理解	アレルギー疾患に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	講義での配布資料とノートを読み直し要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
13	13 (演習)症例検討	提示された血液疾患および消化器疾患の症例についての問題点を整理しておく。	提示された症例の病態に関する要点をまとめ、疑問点をピックアップする。
14	14 (演習)ヘモグロビン測定～貧血とその病態	ヘモグロビン測定に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	演習の振り返りを行い、要点をまとめるとともに疑問点をピックアップする。
15	15 (演習)体温測定～発熱の病態と不明熱	体温測定に関する教科書の部分を読み、要点をまとめる。	演習の振り返りを行い、要点をまとめるとともに疑問点をピックアップする。

[illegible]

講義名	4020012000 薬理学						
年度	2024	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	小池 智彦		

學習目標(到達目標)

1. 薬物治療の目的と薬物療法における看護職の役割について説明できる。
2. 薬物の作用機序、有害作用、薬効に影響する因子等について説明できる。
3. 薬物の管理と新薬開発のプロセスについて説明できる。
4. 薬物分類に促った各薬物について、薬理作用、使用上の注意、安全で有効な使用方法等について説明できる。

授業概要(教育目的)

下は生を受けてから死に至るまで多くの病気の脅威にさらされているが、その治療に大きな役割を果たすのが薬である。体内ではそのような機序で薬が作用するのから、異なった薬を使用した場合の相乗効果、副作用や毒性、誤った使用方法などを知り、命の刃刀である薬を正しく安全に有効に使用できるように、総合的な知識を身に付ける。さらに、新薬がどのようにして研究開発され販売されるのか、新しい薬が生まれるまでの課程を理解する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

科学的な根拠に基づく基礎的看護ケアを実践し、多くの医療関係職種と連携・協働して看護の役割を判断し行動する能力を身につけている。

評価方法

定期試験により評価する。

課題に対するフィードバック

期末試験の成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

系統看護学講座 専門基礎分野 薬理学(医学書院)

資格との関連

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	4020013000 栄養学						
年度	2024	開講時期	後期前半	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	井元 紀子		

學習目標(到達目標)

1. ヒトが発育・成長して生命を維持し、健康な生命活動を営むための栄養を説明できる。
2. 種々の栄養素の働きとエネルギー代謝を説明できる。
3. 消化吸収された栄養素の体内での代謝を説明できる。

授業概要(教育目的)

生命を営む上で必須である「栄養」の基礎知識を習得し、健康の維持や疾病の治療における栄養（食事）療法の役割と実際について学ぶ。基礎知識を応用し、特に高齢者の低栄養やライフサイクルを通しての生活習慣病を回避するためのマネジメントなど、医療と保健活動において栄養面からのアプローチができるようにすることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

科学的な根拠に基づく基礎的看護ケアを実践し、多くの医療関係職種と連携・協働して看護の役割を判断し行動する能力を身につけている。

評価方法

定期試験により評価する。

課題に対するフィードバック

期末試験の成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

1. 三輪一智 他著、系統看護学講座専門基礎分野 生化学 人体の構造と機能[2] (医学書院)
2. 小野章史 他著、系統看護学講座専門基礎分野 栄養学 人体の構造と機能[3] (医学書院)

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	4020015000 社会福祉論						
年度	2024	開講時期	後期前半	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	吉田 守実		

學習目標(到達目標)

1. 学生が社会保障および社会福祉の歴史的変遷について説明できる。
2. 学生が社会保障や社会福祉の制度について説明できる。
3. 学生が他職種との連携の重要性について説明できる。

授業概要(教育目的)

わが国の社会保障と社会福祉制度について歴史的変遷を学び、「人間の尊厳」を守るということについて考える。現在の社会福祉・保障制度によって人々の生活はどのように守られているか、もし生活困窮に陥った時どうしたらよいのか、生活に深く結びついている社会福祉の考え方を法律や制度と関連付けて理解できるように教授する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

科学的な根拠に基づく基礎的看護ケアを実践し、多くの医療関係職種と連携・協働して看護の役割を判断し行動する能力を身につけている。

評価方法

定期試験により評価する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、感想文)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

講義時使用テキスト

社会福祉(医学書院)

資格との関連

実務との関連

学生へのメッセージ

授業計画表

[illegible]

講義名	4020020000 保健医療福祉行政論Ⅰ						
年度	2024	開講時期	前期後半	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	藤本 幸男		

學習目標(到達目標)

- 1 保健医療福祉行政・財政の理念としくみを理解し、説明できる。
- 2 社会情勢の変化と保健医療福祉行政の考え方の変遷について理解し、説明できる。
- 3 保健医療福祉行政の分野と制度について理解し、説明できる。
- 4 保健医療福祉の計画と評価について理解し、説明できる。

授業概要(教育目的)

保健医療従事者として地域保健を実践する上で不可欠な知識として、保健医療福祉の制度や組織、内容、またその変遷について説明を行う。

また、保健福祉計画の策定から評価までのプロセスと策定方法を説明するとともに、実際の計画策定事例について検討を行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域住民の健康特性の理解のもと、地域の看護活動の向上に資するための基礎的研究方法を身につけている。

評価方法

期末試験による。

課題に対するフィードバック

課題レポートは内容を確認して返却する。
理解が十分でない事項については、再学習すること。

参考文献

フランク・M・スノーデン「疫病の世界史(上下)」明石書店(桃井、塩原共訳 2021)
その他、講義中に必要に応じて紹介する。

講義時使用テキスト

標準保健師講座別巻1 保健医療福祉行政論 医学書院

資格との関連

保健師国家試験受験資格

実務との関連

保健師として活動するために必要不可欠な、保健医療福祉行政の仕組みや制度の変遷とその内容及び関係行政計画について講義を行う。

学生へのメッセージ

本科目は、公衆衛生看護学(保健師国家試験受験資格)を選択し選択された学生の必修科目となっている。
相互授業を目指しているので、質問はいつでも受け付ける。他の学生に迷惑となるので、私語は厳に慎むこと。事前に教科書を読んでから受講すること。

授業計画表

[illegible]

講義名	4020021000 保健医療福祉行政論Ⅱ						
年度	2024	開講時期	前期前半	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	末廣 敏昭		

學習目標(到達目標)

1. 法の概念、厚生行政を支える衛生法の基本的考え方を説明できる。
2. 衛生法の分類と主要な法規を挙げることができる。
3. 看護業務を支える法規について概略の説明ができる。

授業概要(教育目的)

保健医療従事者として必要なわが国の保健医療福祉制度の概要と制度を支える法規について教示する。法とは何か、法の社会性・規範性といった基本的な事項から、高度先進医療や医療事故の動向とその対応、法的側面からの看護倫理の課題等について教示する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

科学的な根拠に基づく基礎的看護ケアを実践し、多くの医療関係職種と連携・協働して看護の役割を判断し行動する能力を身につけている。

評価方法

定期試験による評価

課題に対するフィードバック

期末試験の成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

必要な場合、授業時紹介する。

講義時使用テキスト

系統看護学講座専門基礎分野 看護関係法令 医学書院

資格との関連

学生へのメッセージ

本科目は、公衆衛生看護学(保健師国家試験受験資格)を選択し選抜された学生の必修科目となっている。

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	4020028000 基礎看護学実習 I						
年度	2024	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	小沢 久美子		

學習目標(到達目標)

1. 病院、病棟の構造と機能を知り、療養環境を理解できる。
2. 毎日の看護活動の実際を理解する。
3. 看護の基礎的技術の実際を理解する。
4. 患者とのコミュニケーション、人間関係の成立について理解できる。
5. 看護を学ぶ学生としての学習姿勢を身につける。

授業概要(教育目的)

入院患者の生活状況や療養環境、看護活動の概要、日常生活の援助、人間関係の成立等、看護実践に必要な基礎的能力(知識・技術・態度)を学習し、自己の課題に気づくことができる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

科学的な根拠に基づく基礎的看護ケアを実践し、多くの医療関係職種と連携・協働して看護の役割を判断し行動する能力を身につけている。

評価方法

実習評価表にもとづいて評価する。

課題に対するフィードバック

- ・事前課題(予習)、実習記録、事後課題レポートについては、コメントまたは面談によりフィードバックする。また実習中はカンファレンスを行い、実習目標に沿って振り返りを行う。
- ・成績評価について自己評価をしてもらい、良かった点と今後の課題について個々にフィードバックを行う。

参考文献

講義時使用テキスト

授業で使ったテキスト、参考文献、資料の全て。

資格との関連

実務との関連

看護師として総合病院に勤務。臨床経験をもとに、看護師という職業や看護の役割、看護活動の実際について理解が深まるように助言する。

学生へのメッセージ

授業計画表

[illegible]

講義名	4020029001 基礎看護学実習Ⅱ						
年度	2024	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	小沢 久美子		

學習目標(到達目標)

1. 入院患者の療養環境および看護の対象を理解する。
2. 患者の特徴や健康障害に配慮したコミュニケーションを見学・実施し、振り返ることが出来る。
3. 患者の特徴や健康障害に応じた基礎的看護技術を見学・実施し、振り返ることが出来る。
4. 看護を学ぶ学生としての学習姿勢を身につける。

授業概要(教育目的)

看護実践を通して、看護の対象となる人へのコミュニケーション技術や基礎的看護技術の実際を学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

科学的な根拠に基づく基礎的看護ケアを実践し、多くの医療関係職種と連携・協働して看護の役割を判断し行動する能力を身につけている。

評価方法

実習評価表にもとづいて評価する。

講義時使用テキスト

授業で使ったテキスト、参考文献、資料の全て。

資格との関連

実務との関連

看護師として総合病院に勤務。臨床経験をもとに患者の看護について理解が深まるように助言する。

授業計画表

[illegible]

講義名	4020031000 成人看護援助論Ⅰ						
年度	2024	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者) 坂本 弘子				

学習目標 (到達目標)

1. 急性期・周手術期にある患者とその家族の特徴を理解し、看護の役割を説明できる。
2. 周手術期看護の考え方、回復促進のための看護について説明できる。
3. クリティカルケアの視点を捉え、必要な看護について説明できる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域の看護活動に積極的に取り組むことのできる基礎的な看護実践能力を身につけている。

評価方法

定期試験にて評価する。

講義時使用テキスト

1. 成人看護学 急性期看護Ⅰ 概論・周手術期看護 南江堂
2. 成人看護学 急性期看護Ⅱ クリティカルケア 南江堂
3. 成人看護学 成人看護技術 南江堂

資格との関連

看護師国家試験

実務との関連

看護師として実務経験がある。

授業概要 (教育目的)

急性期・周手術期にある患者への看護を実践するために必要な病態、検査・治療を理解し、急性期看護、周手術期看護の考え方、援助方法を講義を通して教授する。

課題に対するフィードバック

試験の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

1. ナーシンググラフィカ 疾患と看護(循環器、呼吸器、消化器、腎・泌尿器/内分泌/代謝、血液/アレルギー・膠原病/感染症、運動器、脳・神経、眼/耳鼻咽喉/歯・口腔/皮膚/女性生殖器)

学生へのメッセージ

常に予習復習をする時間を借しまないでほしい。テキストを丁寧に読むこと。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	急性期看護とは ディスカッション	テキストの該当箇所を読む	講義資料とテキストを読み直す
2	周手術期看護とは ディスカッション	テキストの該当箇所を読む	講義資料とテキストを読み直す
3	手術前期の看護 手術期の看護 グループワーク	テキストの該当箇所を読む	講義資料とテキストを読み直す
4	手術後期の看護(術後合併症) グループワーク	テキストの該当箇所を読む	講義資料とテキストを読み直す
5	手術後期の看護(術後合併症予防の看護) グループワーク	テキストの該当箇所を読む	講義資料とテキストを読み直す
6	退院に向けた指導・支援 内視鏡治療・鏡視下手術の術前・術後の看護 グループワーク	テキストの該当箇所を読む	講義資料とテキストを読み直す
7	事例で考える周手術期看護 開頭腫瘍摘出術 レスポンスカードで質問に答える	テキストの該当箇所を読む	講義資料とテキストを読み直す
8	事例で考える周手術期看護 胸腔鏡下肺葉切除術 レスポンスカードで質問に答える	テキストの該当箇所を読む	講義資料とテキストを読み直す
9	事例で考える周手術期看護 冠動脈バイパス術 レスポンスカードで質問に答える	テキストの該当箇所を読む	講義資料とテキストを読み直す
10	事例で考える周手術期看護 食道切除術 レスポンスカードで質問に答える	テキストの該当箇所を読む	講義資料とテキストを読み直す
11	事例で考える周手術期看護 胃切除術 レスポンスカードで質問に答える	テキストの該当箇所を読む	講義資料とテキストを読み直す
12	事例で考える周手術期看護 肝切除術 レスポンスカードで質問に答える	テキストの該当箇所を読む	講義資料とテキストを読み直す
13	事例で考える周手術期看護 腹腔鏡下胆嚢摘出術 レスポンスカードで質問に答える	テキストの該当箇所を読む	講義資料とテキストを読み直す
14	事例で考える周手術期看護 人工股関節全置換術 レスポンスカードで質問に答える	テキストの該当箇所を読む	講義資料とテキストを読み直す
15	事例で考える周手術期看護 乳房部分切除術 レスポンスカードで質問に答える	テキストの該当箇所を読む	講義資料とテキストを読み直す
16	事例で考える周手術期看護 子宮摘出術 レスポンスカードで質問に答える	テキストの該当箇所を読む	講義資料とテキストを読み直す
17	事例で考える周手術期看護 低位前方切除術 レスポンスカードで質問に答える	テキストの該当箇所を読む	講義資料とテキストを読み直す
18	事例で考える周手術期看護 経尿道的前立腺切除術 レスポンスカードで質問に答える	テキストの該当箇所を読む	講義資料とテキストを読み直す
19	事例で考える周手術期看護 腎移植 レスポンスカードで質問に答える	テキストの該当箇所を読む	講義資料とテキストを読み直す
20	クリティカルケアの概念 ディスカッション	テキストの該当箇所を読む	講義資料とテキストを読み直す
21	事例で考えるクリティカルケア 急性心筋梗塞 ディスカッション	テキストの該当箇所を読む	講義資料とテキストを読み直す
22	事例で考えるクリティカルケア クモ膜下出血 ディスカッション	テキストの該当箇所を読む	講義資料とテキストを読み直す
23	事例で考えるクリティカルケア 気管支喘息 ディスカッション	テキストの該当箇所を読む	講義資料とテキストを読み直す
24	事例で考えるクリティカルケア 急性大動脈解離 ディスカッション	テキストの該当箇所を読む	講義資料とテキストを読み直す
25	事例で考えるクリティカルケア 尿管結石 ディスカッション	テキストの該当箇所を読む	講義資料とテキストを読み直す
26	事例で考えるクリティカルケア 低血糖・高血糖 ディスカッション	テキストの該当箇所を読む	講義資料とテキストを読み直す
27	事例で考えるクリティカルケア アナフィラキシーショック ディスカッション	テキストの該当箇所を読む	講義資料とテキストを読み直す
28	事例で考えるクリティカルケア 熱中症 ディスカッション	テキストの該当箇所を読む	講義資料とテキストを読み直す
29	事例で考えるクリティカルケア 胸部外傷 ディスカッション	テキストの該当箇所を読む	講義資料とテキストを読み直す
30	事例で考えるクリティカルケア 広範囲熱傷 睡眠薬中毒(オーバードース) ディスカッション	テキストの該当箇所を読む	講義資料とテキストを読み直す

講義名	4020033000 成人看護学実習Ⅰ						
年度	2024	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	3・4
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	市川 裕美子		

學習目標(到達目標)

- 1.急性期・回復期・周手術期にある成人期の患者の特徴と看護問題を理解できる。
- 2.急性期・回復期・周手術期にある患者の看護問題に応じた援助を理解し、実践できる。
- 3.急性期にある患者の検査・治療・処置に応じた援助を理解し、回復に向けた援助を実践できる。
(身体的優遇を受ける周手術期の看護の方法を含む)
- 4.回復期にある患者の自立に向けた援助を理解し、実践できる。
- 5.他職種との連携による社会復帰に向けた援助の方法と実践を理解できる。
- 6.急性期・回復期・周手術期における看護の役割・機能を理解し、自己の役割を認識し行動できる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域の看護活動に積極的に取り組むことのできる基礎的な看護実践能力を身につけている。

評価方法

実習評価表にもとづいて評価する。

講義時使用テキスト

授業で使ったテキスト、参考文献、資料の全て。
必要時、適宜紹介する

資格との関連

看護師国家試験に関連する

実務との関連

担当教員全員が看護師として病院勤務の経験がある。それに基づいて実習指導を行う

授業概要(教育目的)

1.急性期・回復期・周手術期にある成人を理解し、個性性をふまえた看護の実践に必要な基礎的能力を習得する。

2.急性期・回復期・周手術期にある患者の看護実践をととして、看護過程展開能力と看護専門職としての姿勢を養う。

課題に対するフィードバック

成績に疑問がある場合は、個別に対応する

参考文献

授業で使ったテキスト、参考文献、資料の全て。
必要時、適宜紹介する

学生へのメッセージ

積極的に主体的に学習すること。

授業計画表

[illegible]

講義名	4020034000 成人看護学実習Ⅱ						
年度	2024	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	3・4
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	市川 裕美子		

學習目標(到達目標)

1. 慢性期または、終末期にある成人期の患者の特徴と看護上の問題を理解できる。
2. 慢性期または、終末期にある患者の健康問題、健康レベル、機能障害に応じた援助を理解し、実践できる。
3. 慢性期または、終末期にある患者の検査・治療・処置に応じた援助を理解し、援助を実践できる。
4. 他職種との連携や継続看護、社会復帰に向けた援助の方法と実践を理解できる。
5. 慢性期または、終末期における看護の役割機能を理解し、自己の役割を認識し行動できる。

授業概要(教育目的)

1. 慢性期または、終末期における患者の健康状態を把握し、患者の特徴と個性をふまえた看護の実践に必要な基礎的能力を習得する。
2. 慢性期または、終末期にある患者の看護実践をとおして、看護過程展開能力と看護専門職としての姿勢を養う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域の看護活動に積極的に取り組むことのできる基礎的な看護実践能力を身につけている。

評価方法

実習評価表にもとづいて評価する。

課題に対するフィードバック

成績に疑問がある場合は、個別に対応する

参考文献

これまで授業で使ったテキスト、参考文献、資料の全て。
適宜必要な場合には紹介する。

講義時使用テキスト

これまで授業で使用したテキスト、参考文献、資料の全て。
適宜必要な場合には紹介する。

資格との関連

看護師国家試験に関連する

実務との関連

担当教員全員が看護師としての病院勤務の実務経験がある。それに基づいて成人看護学について実習指導を行う

学生へのメッセージ

積極的に主体的に学習すること。

授業計画表

[illegible]

講義名	4020040000 小児看護援助論						
年度	2024	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	田中 克枝		

学習目標 (到達目標)

- 成長発達過程にある小児の疾患やその療養に関する知識を習得する。
- 健康問題をもつ小児とその家族のアセスメントと援助方法について説明できる。
- 小児の入院による影響や環境の変化をアセスメントすることができる。
- 小児とその家族の看護に必要な小児看護技術を習得する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

この科目は必修科目であり卒業認定・学位授与に関わります。また、国家試験の小児看護に関連する科目なので、わからない箇所・不明な点は教員に質問したり、自ら調べ理解するように努力して下さい。

評価方法

事前課題やレポート提出、筆記試験の結果にて総合的に評価する。

講義時使用テキスト

- 奈良間美保他:系統看護学講座専門Ⅱ 小児臨床看護各論 小児看護学[2], 医学書院.
- 中野綾美編:ナースング・グラフィカ 小児看護学①小児の発達と看護, メディカ出版.

資格との関連

看護師国家資格

実務との関連

田中(克)、佐々木は看護師としての実務経験があり、田中克は小児科医として現在も勤務し、それに基づき講義・演習を行っている。

授業概要 (教育目的)

成長過程にある小児の特徴と小児疾患についての知識を習得し、健康課題をもつ小児と家族のアセスメントと援助方法を理解することができる。また、小児の入院による影響や環境の変化をイメージ化し、小児とその家族の看護に必要な小児看護技術の基礎となるものを習得する。

課題に対するフィードバック

試験(レポート、期末試験)の成績を知りたい学生には個別で開示する

参考文献

授業時、授業内容に沿った参考文献を示す

学生へのメッセージ

小児看護学概論で学んだ内容を復習して、小児看護援助論の講義に望んで下さい。
配布したプリントは実習でも使用するので、きちんとファイリングして保管して下さい。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	代表的な小児疾患:感染症	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読み直す
2	代表的な小児疾患:悪性新生物	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読み直す
3	代表的な小児疾患:脳神経系疾患	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読み直す
4	代表的な小児疾患:先天性、代謝疾患	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読み直す
5	代表的な小児疾患:呼吸器、消化器疾患	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読み直す
6	代表的な小児疾患:循環器疾患、その他の疾患	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読み直す
7	小児・家族の健康に関する問題 ・グループワーク ・リアクションペーパーの使用 (講義についての振り返り、疑問等)	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読み直す
8	子ども虐待と支援 ・理解度確認(発問) ・リアクションペーパーの使用 (講義についての振り返り、質問等)	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読み直す
9	子どもと社会 ―子どもに関する法規、制度― ・理解度確認(発問) ・リアクションペーパーの使用(講義についての振り返り、質問等)	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読み直す
10	子どもの健康診断と育児支援 ・理解度確認(発問) ・リアクションペーパーの使用(講義についての振り返り、質問等)	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読み直す
11	予防接種 ・理解度確認(発問) ・リアクションペーパーの使用(講義についての振り返り、質問等)	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読み直す
12	慢性疾患患児の援助① ―糖尿病、アレルギー性疾患― ・理解度確認(発問) ・リアクションペーパーの使用(講義についての振り返り、質問等)	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読み直す
13	慢性疾患患児の援助② ―腎疾患と心疾患の成育医療― ・理解度確認(発問、ミニテスト) ・リアクションペーパーの使用(講義についての振り返り、質問等)	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読み直す
14	手術を受ける子どもの看護①総論 ・理解度確認(発問) ・リアクションペーパーの使用(講義についての振り返り、質問等)	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読み直す
15	手術を受ける子どもの看護②各論 ・理解度確認(発問) ・リアクションペーパーの使用(講義についての振り返り、質問等)	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読み直す
16	ハイリスク児の看護 ・理解度確認(発問) ・リアクションペーパーの使用(講義についての振り返り、質問等)	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読み直す
17	先天性疾患の看護 ―ダウン症候群の子どもの関わり― ・理解度確認(発問) ・リアクションペーパーの使用(講義についての振り返り、質問等)	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読み直す
18	悪性腫瘍をもつ子どもの看護 ―急性リンパ性白血病― ・理解度確認(発問) ・リアクションペーパーの使用(講義の振り返り、感想など)	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読み直す
19	看護過程のグループワーク① ―オリエンテーションと演習―	テキストの該当箇所を読む	グループメンバーで事例について話し合う
20	看護過程のグループワーク②	事例の疾患看護を調べる	グループメンバーで話し合う 疾患の勉強を行う
21	看護課程のグループワーク③	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読み直す
22	障がいをもつ子どもの看護① ―発達障害児の関わり―	小児看護専門看護師の役割をテキスト等を読み、調べる	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読み直す
23	障がいをもつ子どもの看護② ―肢体不自由児、重症心身障害児の関わり― ・リアクションペーパーの使用 (講義についての振り返り、質問等)	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、テキストや配布資料を読み直す
24	看護過程のグループワーク④ ―事例によるブレブレセッション作成	事例のブレブレセッションの内容グループで話しあう	発表できるように資料作成作業を行う
25	看護過程のグループ発表会①	グループで発表できるように準備する	グループ以外の事例看護の発表を聞いて、学んだことを調べなおす
26	看護過程のグループ発表会②	グループで発表できるように準備する	グループ以外の事例看護の発表を聞いて、学んだことを調べなおす
27	子どもの看護技術(講義) ・理解度確認(発問) ・リアクションペーパーの使用 (講義についての振り返り、質問等)	前回の授業のテキスト、配布資料を読み直す	看護技術の練習を行う
28	子どもの看護技術(学内演習)①	前回の授業のテキスト、配布資料を読み直す	看護技術を復習し、身に付ける。
29	子どもの看護技術(学内演習)②	今までの学んだものからわからないもの、憶えるべきものを整理する	看護技術を復習し、身に付ける。課題を行う
30	小児看護援助論のまとめ 実習前の看護演習	今までの学んだものからわからないもの、憶えるべきものを整理する	実習の準備、今までの講義内容を整理する

講義名	4020041000 小児看護学実習Ⅰ						
年度	2024	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	3・4
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	佐々木 真湖		

學習目標(到達目標)

1. 子どもの活動の場を通じ、成長発達段階の特徴と個性を理解できる。
2. 基本的生活習慣の自立に基づいた日常生活援助について理解できる。
3. 子どもを一人の人として尊重し、相互の信頼関係の必要性を理解することができる。
4. 子どもの健康管理、安全管理の実践を理解できる。

授業概要(教育目的)

子どもの成長・発達を促進するための支援や、子どもの人権を擁護する具体的な方法について考え、保育活動および幼児教育の場を通して観察し、成長・発達段階の特徴を学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

僻地や医療過疎地など地域特性の理解のもと、地域の看護活動に積極的に取り組むことのできる基礎的な看護実践能力を身につけている。

評価方法

実習評価表にもとづいて評価する。

課題に対するフィードバック

1. 実習目標に沿って、学んだことを毎日のカンファレンスで発表し、指導者や教員よりアドバイスを受ける。
2. 実習記録を指導者が随時し、子どもの成長発達段階に合わせた関わり方について、コメントをもらう。
3. 小児看護学実習Ⅱの病院実習においても、成長発達シートを継続的に記入し、内容を充実させる。

参考文献

・筒井真優美監修：パーフェクト臨床実習ガイド小児看護 第2版、照林社、2018。
・金子龍太郎・吾田富士子監修：保育に役立つ！子どもの発達がわかる本、ナツソ社、2019。
・河原紀子監修・執筆：0歳～6歳子どもの発達と保育の本、学研教育みらいの2021。

講義時使用テキスト

特に指定しない

資格との関連

看護師国家試験受験資格

実務との関連

大学病院での小児病棟の看護師としての実務経験を有し、小児看護に関わる実質的な経験に基づき授業を展開する。

学生へのメッセージ

[illegible]

講義名	4020042000 小児看護学実習Ⅱ						
年度	2024	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	3・4
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	佐々木 真湖		

學習目標(到達目標)

1. 子どもの成長発達について対象を通じ理解できる。
2. 疾病や障害をもつ子どもとその家族に及ぼす影響について理解を深め、必要な情報を収集し、分析し、看護過程を展開できる。
3. 成長・発達段階や健康レベルに応じ、その小児に適した入院環境の調整や日常生活の援助を安全に実施できる。
4. 小児看護の目的・機能を十分に理解し、子どもと家族の看護に関する倫理観を養うことができる。
5. 子どもを取り巻く環境を認識し、外来など関連する多職種との連携や協働することの重要性について理解できる。

授業概要(教育目的)

子どもとその家族の成長・発達段階や健康レベルに応じた実践場面を通じ、健康の保持、増進、回復を目指した小児看護の役割や具体的な看護支援を理解し、子どもを取り巻く社会や入院環境による影響について看護過程を展開しながら主体的に学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

僻地や医療過疎地など地域特性の理解のもと、地域の看護活動に積極的に取り組むことのできる基礎的な看護実践能力を身につけている。

評価方法

実習評価表にもとづいて評価する。

講義時使用テキスト

特に指定しない

資格との関連

看護師国家試験受験資格

実務との関連

大学病院での小児病棟の看護師としての実務経験があり、小児看護や小児保健および小児医療の実践について臨地実習指導者と協力し教育する。

授業計画表

[illegible]

講義名	4020045000 母性看護学実習						
年度	2024	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	3・4
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	坂本 保子		

學習目標(到達目標)

1. 妊婦・産婦・褥婦および新生児の特徴を説明することができる。
2. 妊婦・産婦・褥婦および新生児に必要な看護技術ができる。
3. 産褥期における母子の看護過程を展開できる。
4. 妊婦・褥婦・新生児の経過に応じた保健指導の方法を説明することができる。
5. 母子保健医療チームにおける看護師の役割を説明することができる。

授業概要(教育目的)

一 妊婦・産婦・褥婦、新生児およびその家族の特徴を理解し、看護過程をととして対象者や家族の状態に応じた基本的な看護実践能力を養う。母子看護に関わる保健医療チームの中での看護師の役割を理解し、継続看護に必要な社会資源の活用について学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

僻地や医療過疎地など地域特性の理解のもと、地域の看護活動に積極的に取り組むことのできる基礎的な看護実践能力を身につけている。

評価方法

実習評価表にもとづいて評価する。

課題に対するフィードバック

- ・小テストおよび課題レポートを評価して伝える
- ・実習目標に沿って、指導者や指導教員のアドバイスをもとに、カンファレンスを通して振り返りをする
- ・実習記録などは、不足部分についてはコメントを書き、実習目標を意識づけるようにする

参考文献

ナーシンググラフィカ 母性看護の実践 母性看護学②
 ナーシンググラフィカ 母性看護技術 母性看護学③
 南江堂 中村幸代 根拠がわかる母性看護過程

講義時使用テキスト

授業時使用したテキスト、参考文献、資料の全て。

資格との関連

看護師国家試験受験資格

学生へのメッセージ

予習や復習をして基礎知識を身につけてから実習に臨んで欲しい。

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	4020047000 精神看護援助論						
年度	2024	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	三浦 広美		

學習目標(到達目標)

- 1.精神医療における治療と看護の基礎的知識を理解し、看護計画を立案することができる。
- 2.精神看護に関連する法律および社会資源について理解し、支援方法を立案できる。

授業概要(教育目的)

精神保健上の問題のために生活や対人関係に困難を抱えている精神障がい者及び家族の理解に必要な知識や援助について学ぶ。疾病や障がいが生へ及ぼす影響をとらえ、個性性に応じた看護援助やリハビリテーション、社会資源を活用した支援のあり方について学ぶことを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療過疎地やへき地など地域特性を理解し、地域の看護活動に積極的に取り組むことができる基礎的な看護実践能力を身につけている。

評価方法

課題レポート、テストによる総合評価

課題に対するフィードバック

試験の成績を知りたい学生には個別に開示する

参考文献

必要に応じて授業時紹介する

講義時使用テキスト

1.医学書院 系統看護学講座 学①	専門分野Ⅱ 精神看護の基礎	精神看護
2.医学書院 系統看護学講座 学②	専門分野Ⅱ 精神看護の展開	精神看護

資格との関連

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	ケアの人間関係① ・ケアの前提や原則を学ぶ ・患者理解と自己理解について学ぶ	ケアの前提と原則について教科書および紹介資料を読む	学びや考えをまとめる
2	ケアの人間関係② ・ケアの方法や技法について学ぶ	ケアの方法について教科書および紹介資料を読む	受講後に学びや考えをまとめる
3	患者－看護師関係 ・患者－看護師関係で起こることを学ぶ ・患者－看護師間で生じる感情とその対処について学ぶ	患者－看護師関係について教科書および紹介資料を読む	患者－看護師間で生じる感情と対処についてまとめる
4	チームのダイナミクス ・病棟やチーム等のグループダイナミクスについて理解し、カンファレンスの方法を学ぶ	グループダイナミクスについて教科書および紹介資料を読む	グループダイナミクスを考慮したカンファレンスの方法をまとめる
5	入院治療と看護① ・患者にとっての入院治療の意味を理解し、入院目的とアセスメントについて学ぶ ・精神科病棟の特徴や治療的環境について学ぶ	入院治療と看護について紹介資料を読む	精神科病棟の特徴を踏まえた看護をまとめる
6	入院治療と看護② ・リスクマネジメントや行動制限から治療と安全のバランスについて学ぶ	行動制限と治療について教科書および紹介資料を読む	リスクマネジメントの観点からの看護をまとめる
7	看護における感情労働と看護師のメンタルヘルス ・精神看護場面に見られる感情ワークについて考える ・よい看護場面、難しい看護場面の対応から感情処理のあり方考える ・転移、バーンアウトなどよく経験されるメンタルヘルス問題を考える ・危機的状況と対処法について考える	教科書を読み、看護の仕事と感情労働との関係・看護師のメンタルヘルスに関連する事柄を調べる	看護場面の効果的な感情処理のあり方・看護師のメンタルヘルスを保つ方法についてまとめる
8	回復を支援する① ・患者にとっての回復・リカバリーとはなにか、その意味を理解し、精神障害をもつ人々の回復を促し支援する様々なアプローチを学ぶ	回復を支援することについて教科書および紹介資料を読む	リカバリーの観点からの看護をまとめる
9	入院治療と看護③ ・精神科における緊急事態への対処方法について学ぶ	精神科における緊急事態について教科書および紹介資料を読む	精神科における緊急事態への対処方法についてまとめる
10	入院治療と看護④ ・精神科で行われる治療、起こりやすい合併症とその看護について学ぶ	精神科で行われる治療、起こりやすい合併症についてまとめる	精神科での治療と起こりやすい合併症への対応および看護についてまとめる
11	精神看護における看護理論の応用 ・看護を支援する② ・看護診断および看護理論の活用を学ぶ	看護学概論での学習を読み返しまとめる	精神看護における看護理論についてまとめる
12	プロセスレコード ・関係をアセスメントするためのプロセスレコードの目的と方法について学び、プロセスレコードの実践から実践的理解を深める	プロセスレコードに関する紹介資料・事例を読む	プロセスレコードを書き、自己理解について考えをまとめる
13	回復を支援する③ ・治療の場におけるリカバリーと看護の視点(症例：アルコール依存症における看護)を学ぶ	アルコール依存症の病態と看護についてまとめる	講義で説明した疾患の看護についてまとめる
14	回復を支援する④ ・治療の場におけるリカバリーと看護の視点(症例：アルコール依存症のリカバリーに向けた精神療法)を学ぶ	アルコール依存症のリカバリーに向けた看護についてまとめる	アルコール依存症のリカバリーに向けた援助の方法についてまとめる
15	生じた看護 ・てんかん、神経発達障害の生活への影響とその看護を学ぶ	てんかん、神経発達障害の病態についてまとめる	講義で説明した疾患の看護についてまとめる
16	精神看護の展開：統合失調症① ・統合失調症の病態、病気の経過と症状、検査および薬物療法の基礎的知識に基づいた看護について学ぶ	統合失調症の病態・病気の経過と症状・検査・薬物療法についてまとめる	統合失調症の看護についてまとめる
17	精神看護の展開：統合失調症② ・統合失調症の回復のプロセスに沿った看護について学ぶ ・症状に対する看護について学ぶ	統合失調症の回復のプロセスについて教科書および紹介資料を読む	統合失調症の回復のプロセスに沿った看護及び症状に対する看護についてまとめる
18	精神看護の展開：統合失調症③ ・事例を基に情報整理の方法について学ぶ	統合失調症の事例を読む	看護理論を使った情報整理の方法をまとめる
19	精神看護の展開：統合失調症④ ・情報整理からアセスメントの実践について学ぶ	統合失調症に関する資料を確認してくる	統合失調症の看護アセスメントを考える
20	精神看護の展開：統合失調症⑤ ・アセスメントから問題を抽出し、具体策の立案について学ぶ	統合失調症に関する資料を確認してくる	統合失調症の看護過程を考える
21	精神看護の展開：感情障害① ・情報整理からアセスメントの実践について学ぶ	感情障害の病態・症状・検査・薬物療法についてまとめる	感情障害の看護についてまとめる
22	精神看護の展開：感情障害② ・感情障害の症状、検査や薬物療法の基礎的知識に基づいた看護について学ぶ	感情障害の事例を読む	看護理論を使った情報整理の方法をまとめる
23	精神看護の展開：感情障害③ ・事例を基に情報整理の方法について学ぶ	感情障害に関する資料を確認してくる	感情障害の看護アセスメントを考える
24	精神看護の展開：感情障害④ ・アセスメントから問題を抽出し、具体策の立案について学ぶ	感情障害に関する資料を確認してくる	感情障害の看護過程を考える
25	精神看護の展開：感情障害⑤ ・感情障害患者の援助の実践について学ぶ	感情障害の看護計画に関する資料を確認してくる	感情障害の看護過程について学んだことをまとめる
26	精神看護の展開：感情障害⑥ ・感情障害患者の援助の実践について学ぶ	感情障害の看護計画に関する資料を確認してくる	感情障害の看護過程で重要なところを整理する
27	地域におけるケアと支援① ・地域で生活するための原則及び生活を支える制度について学ぶ	地域生活を支える制度をまとめる	地域生活を支える原則についての学びをまとめる
28	地域におけるケアと支援② ・地域で精神障害者を支援するための方法について学ぶ ・地域における精神障害者の支援の実践について学ぶ ・ゲストティーチャーからの講義	地域生活を支える方法をまとめる	地域生活を支える方法についての学びをまとめる
29	治療的コミュニケーション① ・精神看護におけるコミュニケーションについて学ぶ	コミュニケーションについて今まで習ったことをまとめ、考える	コミュニケーションで重要な事についてまとめる
30	治療的コミュニケーション② ・精神看護におけるコミュニケーションについて学ぶ(グループプレイを通して学びを深める)	精神障害者に対するコミュニケーションの具体的な方法を学ぶ	精神障害者に対するコミュニケーションの具体的な方法についてまとめる

講義名	4020048000 精神看護学実習						
年度	2024	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	3・4
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	木村 緑		

學習目標(到達目標)

1. 精神障害のある対象者を理解でき、探求への配慮ができる。
2. 精神の健康問題が及ぼす影響について理解し、必要な援助計画が立案できる。
3. 対象者との関わりを通して自己理解を深め、援助的関係に役立てることができる。
4. 対象者に現れている精神症状を把握し、治療経過における看護の役割について説明できる。
5. 社会復帰活動における看護の役割について説明できる。

授業概要(教育目的)

精神に障がいを持つ個人として患者さんと出会い、理解する。そして必要な日常生活援助を行い、精神の健康回復に向う看護の実践を学ぶことを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

僻地や医療過疎地など地域特性の理解のもと、地域の看護活動に積極的に取り組むことのできる基礎的な看護実践能力を身につけている。

評価方法

実習評価表にもとづいて評価する。

課題に対するフィードバック

評価表は採点の上返却する

参考文献

授業時使用したテキスト、参考文献、資料の全て。

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表	
-------	--

[illegible]

講義名	4020050001 地域・在宅看護援助論						
年度	2024	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	壬生 寿子		

学習目標 (到達目標)

- 在宅療養者・家族の特徴を理解し、援助方法について説明できる。
- 訪問看護における看護過程の特徴を理解し、訪問看護計画の立案ができる
- ケアマネジメントの重要性和在宅ケアにおける看護職の役割について説明できる。
- 疾患の理解、基本的な在宅看護技術、援助方法と留意点を説明できる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

これからの時代に求められる地域共生社会で活躍する看護師を目指す。病院に限らず、多様な施設での活動も視野に入れ、地域での看護活動に積極的に取り組むことができるように基礎的な看護実践能力を身につけている。

評価方法

- 定期試験・課題レポート・授業への参加度により総合的に評価する。

講義時使用テキスト

- 地域療養を支えるケア:地域・在宅看護論① メディカ出版 (1年次購入)
- 在宅療養を支える技術:地域・在宅看護論② メディカ出版

資格との関連

- 看護師資格取得に必須
- 2022年度よりカリキュラム改正され内容が深化

実務との関連

看護師資格取得により、多種多様な場での活動が期待される。

授業概要 (教育目的)

地域で療養する人とその家族を対象とした在宅看護について、在宅における看護援助方法、家族の状況に合わせた家族支援方法、社会資源の活用方法、他機関・多職種との連携方法、ケアマネジメントや在宅看護の活動の手段としての訪問看護を中心とした活動や継続看護について地域包括ケアを意識して学ぶ。

課題に対するフィードバック

- 課題レポートはコメントをし科目講義終了前には返却する。
- テキストを熟読し、予習、復習の学習姿勢を習慣化する。

参考文献

- 石垣和子他:地域・在宅看護論―自分らしい生活の継続を目指す― 南江堂 2023
- 尾崎章子他:地域・在宅看護過程―療養者が望む暮らしを支える― 医歯薬出版株式会社 2023

学生へのメッセージ

- 1年次の「地域保健学」「地域・在宅看護学概論」の復習をし、在宅療養者を生活者として捉え、在宅看護活動を保健・医療・福祉の広い視点で捉えられるように学ぶ。
- 在宅看護を支える活動の手段としての訪問看護活動を理解し、4年次の実習に役立てる。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	地域・在宅看護学概論の振り返り:地域における生活と健康の復習	事前学習は担当教員からの指示がない限り、講義範囲の内容についてテキストを熟読し、2時間の講義(90分)に対して予習2時間を原則とする。	学習内容を配布資料、テキストで再確認をし、知識を深めるため、2時間の講義(90分)に対して復習2時間を原則とする。
2	在宅療養を支える訪問看護活動 ※復習テスト①	事前学習は担当教員からの指示がない限り、講義範囲の内容についてテキストを熟読し、2時間の講義(90分)に対して予習2時間を原則とする。	学習内容を配布資料、テキストで再確認をし、知識を深めるため、2時間の講義(90分)に対して復習2時間を原則とする。
3	ICFモデルを用いた訪問看護過程展開の実際	事前学習は担当教員からの指示がない限り、講義範囲の内容についてテキストを熟読し、2時間の講義(90分)に対して予習2時間を原則とする。	学習内容を配布資料、テキストで再確認をし、知識を深めるため、2時間の講義(90分)に対して復習2時間を原則とする。
4	対象に応じた在宅看護1: COPDの事例検討① ・疾患の理解 ※課題① COPDについてレポート提出	事前学習は担当教員からの指示がない限り、講義範囲の内容についてテキストを熟読し、2時間の講義(90分)に対して予習2時間を原則とする。	学習内容を配布資料、テキストで再確認をし、知識を深めるため、2時間の講義(90分)に対して復習2時間を原則とする。
5	対象に応じた在宅看護1-①: COPDの事例検討② ・在宅療養の場における呼吸ケア・排痰ケア	事前学習は担当教員からの指示がない限り、講義範囲の内容についてテキストを熟読し、2時間の講義(90分)に対して予習2時間を原則とする。	学習内容を配布資料、テキストで再確認をし、知識を深めるため、2時間の講義(90分)に対して復習2時間を原則とする。
6	対象に応じた在宅看護1-②: COPDの事例検討③ ・呼吸リハビリテーション	事前学習は担当教員からの指示がない限り、講義範囲の内容についてテキストを熟読し、2時間の講義(90分)に対して予習2時間を原則とする。	学習内容を配布資料、テキストで再確認をし、知識を深めるため、2時間の講義(90分)に対して復習2時間を原則とする。
7	対象に応じた在宅看護2-① ・在宅終末期看護の特徴:在宅看取り	事前学習は担当教員からの指示がない限り、講義範囲の内容についてテキストを熟読し、2時間の講義(90分)に対して予習2時間を原則とする。	学習内容を配布資料、テキストで再確認をし、知識を深めるため、2時間の講義(90分)に対して復習2時間を原則とする。
8	対象に応じた在宅看護2-② ・在宅終末期看護の看護過程の展開 ・家族看護	事前学習は担当教員からの指示がない限り、講義範囲の内容についてテキストを熟読し、2時間の講義(90分)に対して予習2時間を原則とする。	学習内容を配布資料、テキストで再確認をし、知識を深めるため、2時間の講義(90分)に対して復習2時間を原則とする。
9	対象に応じた在宅看護3 ・小児の在宅看護	事前学習は担当教員からの指示がない限り、講義範囲の内容についてテキストを熟読し、2時間の講義(90分)に対して予習2時間を原則とする。	学習内容を配布資料、テキストで再確認をし、知識を深めるため、2時間の講義(90分)に対して復習2時間を原則とする。
10	対象に応じた在宅看護4 ・難病療養者への在宅看護	事前学習は担当教員からの指示がない限り、講義範囲の内容についてテキストを熟読し、2時間の講義(90分)に対して予習2時間を原則とする。	学習内容を配布資料、テキストで再確認をし、知識を深めるため、2時間の講義(90分)に対して復習2時間を原則とする。
11	対象に応じた在宅看護5 ・精神疾患療養者の在宅看護の特徴 ・在宅看護のポイント	事前学習は担当教員からの指示がない限り、講義範囲の内容についてテキストを熟読し、2時間の講義(90分)に対して予習2時間を原則とする。	学習内容を配布資料、テキストで再確認をし、知識を深めるため、2時間の講義(90分)に対して復習2時間を原則とする。
12	在宅看護における視覚障害者・聴覚障害者のための支援方法 ・手話の理解 ・点字の理解	事前学習は担当教員からの指示がない限り、講義範囲の内容についてテキストを熟読し、2時間の講義(90分)に対して予習2時間を原則とする。	学習内容を配布資料、テキストで再確認をし、知識を深めるため、2時間の講義(90分)に対して復習2時間を原則とする。
13	在宅看護における連携① ・退院支援 ・退院調整 ※課題②提示 訪問看護ステーションについて	事前学習は担当教員からの指示がない限り、講義範囲の内容についてテキストを熟読し、2時間の講義(90分)に対して予習2時間を原則とする。	学習内容を配布資料、テキストで再確認をし、知識を深めるため、2時間の講義(90分)に対して復習2時間を原則とする。
14	在宅看護における連携② ・多職種連携	事前学習は担当教員からの指示がない限り、講義範囲の内容についてテキストを熟読し、2時間の講義(90分)に対して予習2時間を原則とする。	学習内容を配布資料、テキストで再確認をし、知識を深めるため、2時間の講義(90分)に対して復習2時間を原則とする。
15	日常生活を支える看護技術① ・生活ケア ※復習テスト②	事前学習は担当教員からの指示がない限り、講義範囲の内容についてテキストを熟読し、2時間の講義(90分)に対して予習2時間を原則とする。	学習内容を配布資料、テキストで再確認をし、知識を深めるため、2時間の講義(90分)に対して復習2時間を原則とする。
16	日常生活を支える看護技術② ・在宅で活用できる介護用品	事前学習は担当教員からの指示がない限り、講義範囲の内容についてテキストを熟読し、2時間の講義(90分)に対して予習2時間を原則とする。	学習内容を配布資料、テキストで再確認をし、知識を深めるため、2時間の講義(90分)に対して復習2時間を原則とする。
17	在宅療養を支える看護技術演習:医療的ケア1-① ・医療的ケアの原理・原則	事前学習は担当教員からの指示がない限り、講義範囲の内容についてテキストを熟読し、2時間の講義(90分)に対して予習2時間を原則とする。	学習内容を配布資料、テキストで再確認をし、知識を深めるため、2時間の講義(90分)に対して復習2時間を原則とする。
18	在宅療養を支える看護技術演習:医療的ケア1-② ・在宅人工呼吸療法の実際 (ゲスティーチャーによる実技) ・気管カニューレ管理 ・吸引 ・在宅酸素療法(HOT)	事前学習は担当教員からの指示がない限り、講義範囲の内容についてテキストを熟読し、2時間の講義(90分)に対して予習2時間を原則とする。	学習内容を配布資料、テキストで再確認をし、知識を深めるため、2時間の講義(90分)に対して復習2時間を原則とする。
19	在宅療養を支える看護技術演習:医療的ケア2-① ・膀胱留置カテーテル法 ・スロー管理 ・摘便	事前学習は担当教員からの指示がない限り、講義範囲の内容についてテキストを熟読し、2時間の講義(90分)に対して予習2時間を原則とする。	学習内容を配布資料、テキストで再確認をし、知識を深めるため、2時間の講義(90分)に対して復習2時間を原則とする。
20	在宅療養を支える看護技術演習:医療的ケア2-① ・褥瘡管理 ・足病変のケア	事前学習は担当教員からの指示がない限り、講義範囲の内容についてテキストを熟読し、2時間の講義(90分)に対して予習2時間を原則とする。	学習内容を配布資料、テキストで再確認をし、知識を深めるため、2時間の講義(90分)に対して復習2時間を原則とする。
21	在宅療養を支える看護技術演習:医療的ケア3-① ・経鼻経管栄養法 ・胃瘻 ・中心静脈栄養法(CVポート)	事前学習は担当教員からの指示がない限り、講義範囲の内容についてテキストを熟読し、2時間の講義(90分)に対して予習2時間を原則とする。	学習内容を配布資料、テキストで再確認をし、知識を深めるため、2時間の講義(90分)に対して復習2時間を原則とする。

講義名	4020053000 子一△医療論						
年度	2024	開講時期	前期前半	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	高橋 正知		

學習目標(到達目標)

1. チーム医療の理念と目的について説明できる。
2. 主な保健医療専門職の役割について説明できる。
3. 医療チームにおける看護職の役割について説明できる。
4. チーム医療に関する課題克服方法について意見を述べるができる。

授業概要(教育目的)

保健医療福祉制度における専門職の種類と役割を理解し、チーム医療の理念と目的、協働する活動の方法について学ぶ。チーム医療が必要とされる背景と医療チームにおける看護職の役割と責任について理解し、事例を用いた演習を行い、チーム医療の効果と課題および課題克服の方法を考える。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域住民の健康特性の理解のもと、地域の看護活動の向上に資するための基礎的研究方法を身につけている。

評価方法

演習時での課題レポートと筆記試験により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

・課題は次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

1. 必要がある場合、授業時紹介する。

講義時使用テキスト

1. 実践チーム医療論 実際と教育プログラム 医歯薬出版

資格との関連

実務との関連

高橋正知の担当回について、大学病院勤務の実務経験を活かし、チーム医療の理念、目的、保健医療福祉制度における専門職と役割、および医療安全・医療経済について教授している。

久保 宣子の担当回について、大学病院と市中病院勤務の看護経験を活かし、チーム医療の理念、目的、保健医療福祉制度における専門職と役割、および医療安全・医療経済について教授している。

学生へのメッセージ

臨床現場ではチーム医療のスムーズな実践が求められるので、それに関する必要十分な知識を身に付けて欲しい。

授業計画表

[illegible]

[illegible]

講義名	4020058000 救急看護						
年度	2024	開講時期	後期前半	講義区分	講義	対象年次	4
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	今 明秀		

學習目標(到達目標)

1. 救急時における看護職による医療行為の法的根拠を説明できる。
2. 救急看護の対象の特徴と観察、アセスメントの視点を説明できる。
3. 救急時の主な看護技術の内容及び実施時の注意点を説明できる。

授業概要(教育目的)

一病気や事故、災害に遭遇した時の救急処置や施設における救急救命の基礎的知識、技術を学習する。また、救急医療の置かれた現状や問題について医療システム全体の中で捉え、救急医療の将来について看護の視点から総括して展望できるよう学習する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域住民の健康特性の理解のもと、地域の看護活動の向上に資するための基礎的研究方法を身につけている。

評価方法

課題レポートによる評価

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

1. 系統看護学講座別巻 救急看護学 医学書院

資格との関連

学生へのメッセージ

積極的主体的に学習することを望む。

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	4020061000 災害看護活動論							
年度	2024	開講時期	通年		講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	坂本 弘子			

學習目標(到達目標)

1. 災害活動の法的根拠や、さまざまな職種の人々と協働し、災害時の看護活動円滑に行うために必要となる災害医療の基礎知識を理解することができる。
2. 災害現場における救命処置と応急手当の方法を習得できる。

2. 災害現場における救命処置と応急手当の方法を習得できる。

授業概要(教育目的)

近年、地球温暖化に伴う気候変動などの影響もあり災害の頻度や規模が拡大し、被害が増大している。本書の所在地は、地震・津波の多発地であり、本書の危険に頻してはいえる。災害がこれには被災者病者が発生し、当然医療・看護への要請が高くなる。そのため災害看護を理解し、災害時に適切な救済活動を行えるように、看護職としてのみならず、救済チームとして活動できるような知識・技術を身に付ける。地域的な特徴を生かして、災害看護を実践的に学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域住民の健康特性の理解のもと、地域の看護活動の向上に資するための基礎的研究方法を身につけている。

評価方法

実技と筆記試験で評価をする。

課題に対するフィードバック

筆記試験の成績を知りたい学生には個別に対応する。

参考文献

救急看護(医学書院)
応急手当普及員講習テキスト
授業時適宜資料を配布する

講義時使用テキスト

災害看護学 (医学書院)

資格との関連

普通救命講習Ⅱ修了証
看護師国家試験受験資格

実務との関連

看護師・救急救命士・応急手当普及員の資格を持ち、長い臨床経験をもとに、災害時に必要な救急看護について話しをする。

学生へのメッセージ

災害現場での救命処置やトリアージに必要なフィジカルアセスメントを学ぶことで、災害看護活動に取り組み社会へ貢献しましょう。

授業計画表

[illegible]

講義名	4020062000 国際看護活動論						
年度	2024	開講時期	後期前半	講義区分	講義	対象年次	4
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	久保 宣子		

學習目標(到達目標)

1. 看護職として世界の人々の健康に目を向ける必要性を説明できる。
2. 紛争や貧困、様々な格差が人々の健康に与える影響について説明できる。
3. グローバリゼーションが進んでいる中で、保健医療においてどのような活動ができてか意見を述べる。
4. 多様な文化背景をもつ人々に適切なヘルスケアを提供できるよう異文化の対理解を促進することができる。

授業概要(教育目的)

グローバリゼーションがますます進展している現在、同じ地球上に住む人間として、世界中の人々が互いに助け合い健康を生き抜くことが求められている。看護職として、国内外の人々に関心を寄せるだけでなく文化背景を考慮しつつ、健康の向上のために国際的に協力をすることが期待されている。世界各国の人々の生活や健康状態の現実を見極め、日本の看護職として国際的な視野で協力活動ができるようその方法を学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域住民の健康特性の理解のもと、地域の看護活動の向上に資するための基礎的研究方法を身につけている。

評価方法

課題レポート・リフレクションシートによる評価

課題に対するフィードバック

課題(レポート・リフレクションシート)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

1. 授業時適宜資料を配布する。

講義時使用テキスト

1. 國際看護學(醫學書院)

資格との関連

実務との関連

看護師として総合病院に勤務。医療機関での実務経験をもとに国際看護について話をする。

学生へのメッセージ

授業計画表

[illegible]

講義名	4020065000 公衆衛生看護学概論						
年度	2024	開講時期	前期前半	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者) 吉岡 幸子				

学習目標 (到達目標)

1)公衆衛生看護(学)および公衆衛生看護活動とは何か説明できる。
2)公衆衛生看護活動の対象と対象の健康と生活について説明できる。
3)公衆衛生看護活動の支援とは何を理解することを通して、公衆衛生看護(学)の役割(専門性・独自性)についての考えを述べることができる。

授業概要 (教育目的)

公衆衛生看護(学)の考え方を理解するために、公衆衛生看護(学)の成立経緯について学ぶ。また、公衆衛生看護の歴史を通して、公衆衛生看護(学)とは何か、その専門性・独自性を探究する姿勢を身につける。

卒業認定・学位授与の方針との関連

評価方法

筆記試験、課題の提出状況と内容、授業中および課題に関するグループワークやプレゼンテーションの状況(参加度・貢献度・発言や取り組みの状況等)等により、総合的に評価する。

講義時使用テキスト

荒賀直子、他編:公衆衛生看護学 .jp、インターメディカル

資格との関連

本科目は、公衆衛生看護学(保健師国家試験受験資格)を選択し選択された学生の必修科目となっている。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	公衆衛生看護の概念(1)	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
2	公衆衛生看護の概念(2)	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
3	公衆衛生看護の歴史的変遷(1)	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
4	公衆衛生看護の歴史的変遷(2)	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
5	社会環境の変化と健康課題(1)	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
6	社会環境の変化と健康課題(2)	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
7	社会環境の変化と健康課題(3)	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
8	社会環境の変化と健康課題(4)	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
9	社会環境の変化と健康課題(5)	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
10	公衆衛生看護活動の方法(1)	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
11	公衆衛生看護活動の方法(2)	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
12	公衆衛生看護活動の方法(3)	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
13	公衆衛生看護活動の方法(4)	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。

講義名	4020072424 看護卒業研究（田中克枝）						
年度	2024	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	4
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	田中 克枝		

學習目標(到達目標)

1. テーマとなる研究課題を明確に示すことができる。
2. 文献を批判的に読解し、テーマに関連づけて説明できる。
3. 研究計画書を立案し、研究計画書を作成することができる。
4. 研究計画書に基づいて、一連の研究プロセスを進めることができる。
5. 卒業研究論文として研究成果をまとめることができる。
6. 研究内容まとめ、研究成果を発表することができる。また、意見交換を通じて発表内容を共有し、学生個々の看護観を深めることができる。

授業概要(教育目的)

- ・看護学に関する学生各自の気づきや関心を深め、広範な知識と高度な専門性を追求し、各自の研究計画に基づいて研究のプロセスを進め、卒業研究論文として成果をまとめる。
- ・指導教員の専門性に沿った研究テーマ毎に企画運営するゼミ内発表・学内発表等プレゼンテーションを行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域住民の健康特性の理解のもと、地域の看護活動の向上に資するための基礎的研究方法を身につけている。

評価方法

各ゼミの担当教員からの指示により、研究計画書もしくは課題レポートを提出し、評価表に基づいて評価する。

課題に対するフィードバック

セミナーの担当教員と担当学生の間で、ゼミを行う毎に指導を受ける。
最終評価を知りたい学生については個別に開示する。

参考文献

各ゼミの担当教員が適宜提示する。

講義時使用テキスト

各ゼミの担当教員が必要に応じて提示する。

資格との関連

実務との関連

指導教員全員、看護師または医師として実務経験があり、それにもどつて看護研究の指導を行っている。

学生へのメッセージ

授業計画表

[illegible]

講義名	4020072425 看護卒業研究（壬生寿子）						
年度	2024	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	4
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	壬生 寿子		

學習目標(到達目標)

1. テーマとなる研究課題を明確に示すことができる。
2. 文献を批判的に読解し、テーマに関連づけて説明できる。
3. 研究計画書を立案し、研究計画書を作成することができる。
4. 研究計画書に基づいて、一連の研究プロセスを進めることができる。
5. 卒業研究論文として研究成果をまとめることができる。
6. 研究内容とまとめ、研究成果を発表することができる。また、意見交換を通じて発表内容を共有し、学生個々の看護観を深めることができる。

授業概要(教育目的)

- ・看護学に関する学生各自の気づきや関心を深め、広範な知識と高度な専門性を追求し、各自の研究計画に基づいて研究のプロセスを進め、卒業研究論文として成果をまとめる。
- ・指導教員の専門性に沿った研究テーマ毎に企画運営するゼミ内発表・学内発表等プレゼンテーションを行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

・地域住民の健康特性の理解のもと、地域の看護活動の向上に資するための基礎的研究方法を身につけている。

評価方法

各ゼミの担当教員からの指示により、研究計画書もしくは課題レポートを提出し、評価表に基づいて評価する。

課題に対するフィードバック

セミナーの担当教員と担当学生の間で、ゼミを行う毎に指導を受ける。
最終評価を知りたい学生については個別に開示する。

参考文献

各ゼミの担当教員が適宜提示する。

講義時使用テキスト

各ゼミの担当教員が必要に応じて提示する。

資格との関連

学生へのメッセージ

領域の特性を活かしたテーマ設定をする。

実務との関連

指導教員全員、看護師または医師として実務経験があり、それに基づいて看護研究の指導を行っている。

授業計画表

[illegible]

講義名	4020072432 看護卒業研究（三浦広美）						
年度	2024	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	4
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	三浦 広美		

學習目標(到達目標)

1. テーマとなる研究課題を明確に示すことができる。
2. 文献を批判的に読解し、テーマに関連づけて説明できる。
3. 研究計画書を立案し、研究計画書を作成することができる。
4. 研究計画書に基づいて、一連の研究プロセスを進めることができる。
5. 卒業研究論文として研究成果をまとめることができる。
6. 研究内容とまとめ、研究成果を発表することができる。また、意見交換を通じて発表内容を共有し、学生個々の看観を深めることができる。

授業概要(教育目的)

- ・看護学に関する学生各自の気づきや関心を深め、広範な知識と高度な専門性を追求し、各自の研究計画に基づいて研究のプロセスを進め、卒業研究論文として成果をまとめる。
- ・指導教員の専門性に沿った研究テーマ毎に企画運営するゼミ内発表・学内発表等プレゼンテーションを行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域住民の健康特性の理解のもと、地域の看護活動の向上に資するための基礎的研究方法を身につけている。

評価方法

各ゼミの担当教員からの指示により、研究計画書もしくは課題レポートを提出し、評価表に基づいて評価する。

課題に対するフィードバック

セミナーの担当教員と担当学生の間で、ゼミを行う毎に指導を受ける。
最終評価を知りたい学生については個別に開示する。

参考文献

各ゼミの担当教員が適宜提示する。

講義時使用テキスト

各ゼミの担当教員が必要に応じて提示する。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

指導教員全員、看護師または医師として実務経験があり、それにもどつて看護研究の指導を行っている。

授業計画表

[illegible]

講義名	4020072434 看護卒業研究（市川裕美子）						
年度	2024	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	4
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	市川 裕美子		

學習目標(到達目標)

1. テーマとなる研究課題を明確に示すことができる。
2. 文献を批判的に読解し、テーマに関連づけて説明できる。
3. 研究計画書を立案し、研究計画書を作成することができる。
4. 研究計画書に基づいて、一連の研究プロセスを進めることができる。
5. 卒業研究論文として研究成果をまとめることができる。
6. 研究内容とまとめ、研究成果を発表することができる。また、意見交換を通じて発表内容を共有し、学生個々の看観を深めることができる。

授業概要(教育目的)

- ・看護学に関する学生各自の気づきや関心を深め、広範な知識と高度な専門性を追求し、各自の研究計画に基づいて研究のプロセスを進め、卒業研究論文として成果をまとめる。
- ・指導教員の専門性に沿った研究テーマ毎に企画運営するゼミ内発表・学内発表等プレゼンテーションを行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域住民の健康特性の理解のもと、地域の看護活動の向上に資するための基礎的研究方法を身につけている。

評価方法

各ゼミの担当教員からの指示により、研究計画書もしくは課題レポートを提出し、評価表に基づいて評価する。

課題に対するフィードバック

セミナーの担当教員と担当学生の間で、ゼミを行う毎に指導を受ける。
最終評価を知りたい学生については個別に開示する。

参考文献

各ゼミの担当教員が適宜提示する。

講義時使用テキスト

各ゼミの担当教員が必要に応じて提示する。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

指導教員全員、看護師または医師として実務経験があり、それにもどつて看護研究の指導を行っている。

授業計画表

[illegible]

講義名	4020072437 看護卒業研究（坂本弘子）						
年度	2024	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	4
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	坂本 弘子		

學習目標(到達目標)

1. テーマとなる研究課題を明確に示すことができる。
2. 文献を批判的に読解し、テーマに関連づけて説明できる。
3. 研究計画を立て、研究計画書を作成することができる。
4. 研究計画書に基づいて、一連の研究プロセスを進めることができる。
5. 卒業研究論文として研究成果をまとめることができる。
6. 研究内容をもとに、研究成果を発表することができる。また、意見交換を通して発表内容と共有し、学生個々の看護観を深めることができる。
7. 卒業研究論文として成果をまとめることができる。
- 8.ゼミ内または学内において成果を発表し意見交換することができる。

授業概要(教育目的)

- ・看護学に関する学生各自の気づきや関心を深め、広範な知識と高度な専門性を追求し、各自の研究計画に基づいて研究のプロセスを進め、卒業研究論文として成果をまとめる。
- ・指導教員の専門性に沿った研究テーマ毎に企画運営するゼミ内発表・学内発表等プレゼンテーションを行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域住民の健康特性の理解のもと、地域の看護活動の向上に資するための基礎的研究方法を身につけている。

評価方法

各ゼミの担当教員からの指示により、研究計画書もしくは課題レポートを提出し、評価表に基づいて評価する。

課題に対するフィードバック

セミナーの担当教員と担当学生の間で、ゼミを行う毎に指導を受ける。
最終評価を知りたい学生については個別に開示する。

参考文献

各ゼミの担当教員が適宜提示する。

講義時使用テキスト

各ゼミの担当教員が必要に応じて提示する。

資格との関連

実務との関連

指導教員全員、看護師または医師として実務経験があり、それにもどつて看護研究の指導を行っている。

学生へのメッセージ

授業計画表

[illegible]

講義名	4020072450 看護卒業研究（久保宣子）						
年度	2024	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	4
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	久保 宣子		

學習目標(到達目標)

1. テーマとなる研究課題を明確に示すことができる。
2. 文献を批判的に読解し、テーマに関連づけて説明できる。
3. 研究計画書を立案し、研究計画書を作成することができる。
4. 研究計画書に基づいて、一連の研究プロセスを進めることができる。
5. 卒業研究論文として研究成果をまとめることができる。
6. 研究内容をまとめ、研究成果を発表することができる。また、意見交換を通じて発表内容を共有し、学生個々の看護観を深めることができる。

授業概要(教育目的)

・看護学に関する学生各自の気づきや関心を深め、広範な知識と高度な専門性を追求し、各自の研究計画に基づいて研究のプロセスを進め、卒業研究論文として成果をまとめる。

・指導教員の専門性に沿った研究テーマ毎に企画運営するゼミ内発表・学内発表等プレゼンテーションを行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域住民の健康特性の理解のもと、地域の看護活動の向上に資するための基礎的研究方法を身につけている。

評価方法

各ゼミの担当教員からの指示により、研究計画書もしくは課題レポートを提出し、評価表に基づいて評価する。

課題に対するフィードバック

ゼミナールの担当教員と担当学生の間で、ゼミを行う毎に指導を受ける。
最終評価を知りたい学生については個別に開示する。

参考文献

各ゼミの担当教員が適宜提示する。

講義時使用テキスト

各ゼミの担当教員が必要に応じて提示する。

資格との関連

実務との関連

指導教員全員、看護師または医師として実務経験があり、それにもどつて看護研究の指導を行っている。

学生へのメッセージ

授業計画表

[illegible]

講義名	4020072451 看護卒業研究（溝江弓恵）						
年度	2024	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	4
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	溝江 弓恵		

學習目標(到達目標)

1. テーマとなる研究課題を明確に示すことができる。
2. 文献を批判的に読解し、テーマに関連づけて説明できる。
3. 研究計画書を立案し、研究計画書を作成することができる。
4. 研究計画書に基づいて、一連の研究プロセスを進めることができる。
5. 卒業研究論文として研究成果をまとめることができる。
6. 研究内容とまとめ、研究成果を発表することができる。また、意見交換を通じて発表内容を共有し、学生個々の看識を深めることができる。

授業概要(教育目的)

- ・看護学に関する学生各自の気づきや関心を深め、広範な知識と高度な専門性を追求し、各自の研究計画に基づいて研究のプロセスを進め、卒業研究論文として成果をまとめる。
- ・指導教員の専門性に沿った研究テーマ毎に企画運営するゼミ内発表・学内発表等プレゼンテーションを行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域住民の健康特性の理解のもと、地域の看護活動の向上に資するための基礎的研究方法を身につけている。

評価方法

各ゼミの担当教員からの指示により、研究計画書もしくは課題レポートを提出し、評価表に基づいて評価する。

課題に対するフィードバック

セミナーの担当教員と担当学生の間で、ゼミを行う毎に指導を受ける。
最終評価を知りたい学生については個別に開示する。

参考文献

各ゼミの担当教員が適宜提示する。

講義時使用テキスト

各ゼミの担当教員が必要に応じて提示する。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

指導教員全員、看護師または医師として実務経験があり、それにもどつて看護研究の指導を行っている。

授業計画表

[illegible]

講義名	4020072452 看護卒業研究（古舘美喜子）						
年度	2024	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	4
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	古舘 美喜子		

學習目標(到達目標)

1. テーマとなる研究課題を明確に示すことができる。
2. 文献を批判的に読解し、テーマに関連づけて説明できる。
3. 研究計画書を立案し、研究計画書を作成することができる。
4. 研究計画書に基づいて、一連の研究プロセスを進めることができる。
5. 卒業研究論文として研究成果をまとめることができる。
6. 研究内容をまとめ、研究成果を発表することができる。また、意見交換を通じて発表内容を共有し、学生個々の看護観を深めることができる。

授業概要(教育目的)

・看護学に関する学生各自の気づきや関心を深め、広範な知識と高度な専門性を追求し、各自の研究計画に基づいて研究のプロセスを進め、卒業研究論文として成果をまとめる。

・指導教員の専門性に沿った研究テーマ毎に企画運営するゼミ内発表・学内発表等プレゼンテーションを行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域住民の健康特性の理解のもと、地域の看護活動の向上に資するための基礎的研究方法を身につけている。

評価方法

各ゼミの担当教員からの指示により、研究計画書もしくは課題レポートを提出し、評価表に基づいて評価する。

課題に対するフィードバック

ゼミナールの担当教員と担当学生の間で、ゼミを行う毎に指導を受ける。
最終評価を知りたい学生については個別に開示する。

参考文献

各ゼミの担当教員が適宜提示する。

講義時使用テキスト

各ゼミの担当教員が必要に応じて提示する。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

指導教員全員、看護師または医師として実務経験があり、それにもどつて看護研究の指導を行っている。

授業計画表

[illegible]

講義名	4020072453 看護卒業研究（佐々木真湖）						
年度	2024	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	4
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	佐々木 真湖		

學習目標(到達目標)

1. テーマとなる研究課題を明確に示すことができる。
2. 文献を批判的に読解し、テーマに関連づけて説明できる。
3. 研究計画書を立案し、研究計画書を作成することができる。
4. 研究計画書に基づいて、一連の研究プロセスを進めることができる。
5. 卒業研究論文として研究成果をまとめることができる。
6. 研究内容とまとめ、研究成果を発表することができる。また、意見交換を通じて発表内容を共有し、学生個々の看観を深めることができる。

授業概要(教育目的)

- ・看護学に関する学生各自の気づきや関心を深め、広範な知識と高度な専門性を追求し、各自の研究計画に基づいて研究のプロセスを進め、卒業研究論文として成果をまとめる。
- ・指導教員の専門性に沿った研究テーマ毎に企画運営するゼミ内発表・学内発表等プレゼンテーションを行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域住民の健康特性の理解のもと、地域の看護活動の向上に資するための基礎的研究方法を身につけている。

評価方法

各ゼミの担当教員からの指示により、研究計画書もしくは課題レポートを提出し、評価表に基づいて評価する。

課題に対するフィードバック

セミナーの担当教員と担当学生の間で、ゼミを行う毎に指導を受ける。
最終評価を知りたい学生については個別に開示する。

参考文献

各ゼミの担当教員が適宜提示する。

講義時使用テキスト

各ゼミの担当教員が必要に応じて提示する。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

指導教員全員、看護師または医師として実務経験があり、それにもどつて看護研究の指導を行っている。

授業計画表

[illegible]

講義名	4020072454 看護卒業研究（西川健）						
年度	2024	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	4
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	西川 健		

學習目標(到達目標)

1. テーマとなる研究課題を明確に示すことができる。
2. 文献を批判的に読解し、テーマに関連づけて説明できる。
3. 研究計画書を立案し、研究計画書を作成することができる。
4. 研究計画書に基づいて、一連の研究プロセスを進めることができる。
5. 卒業研究論文として研究成果をまとめることができる。
6. 研究内容とまとめ、研究成果を発表することができる。また、意見交換を通じて発表内容を共有し、学生個々の看識を深めることができる。

授業概要(教育目的)

- ・看護学に関する学生各自の気づきや関心を深め、広範な知識と高度な専門性を追求し、各自の研究計画に基づいて研究のプロセスを進め、卒業研究論文として成果をまとめる。
- ・指導教員の専門性に沿った研究テーマ毎に企画運営するゼミ内発表・学内発表等プレゼンテーションを行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域住民の健康特性の理解のもと、地域の看護活動の向上に資するための基礎的研究方法を身につけている。

評価方法

各ゼミの担当教員からの指示により、研究計画書もしくは課題レポートを提出し、評価表に基づいて評価する。

課題に対するフィードバック

セミナーの担当教員と担当学生の間で、ゼミを行う毎に指導を受ける。
最終評価を知りたい学生については個別に開示する。

参考文献

各ゼミの担当教員が適宜提示する。

講義時使用テキスト

各ゼミの担当教員が必要に応じて提示する。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

指導教員全員、看護師または医師として実務経験があり、それにもどつて看護研究の指導を行っている。

授業計画表

[illegible]

講義名	4020072455 看護卒業研究（吉岡幸子）						
年度	2024	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	4
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	吉岡 幸子		

學習目標(到達目標)

1. テーマとなる研究課題を明確に示すことができる。
2. 文献を批判的に読解し、テーマに関連づけて説明できる。
3. 研究計画書を立案し、研究計画書を作成することができる。
4. 研究計画書に基づいて、一連の研究プロセスを進めることができる。
5. 卒業研究論文として研究成果をまとめることができる。
6. 研究内容をまとめ、研究成果を発表することができる。また、意見交換を通じて発表内容を共有し、学生個々の看護観を深めることができる。

授業概要(教育目的)

・看護学に関する学生各自の気づきや関心を深め、広範な知識と高度な専門性を追求し、各自の研究計画に基づいて研究のプロセスを進め、卒業研究論文として成果をまとめる。

・指導教員の専門性に沿った研究テーマ毎に企画運営するゼミ内発表・学内発表等プレゼンテーションを行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

地域住民の健康特性の理解のもと、地域の看護活動の向上に資するための基礎的研究方法を身につけている。

評価方法

各ゼミの担当教員からの指示により、研究計画書もしくは課題レポートを提出し、評価表に基づいて評価する。

課題に対するフィードバック

ゼミナールの担当教員と担当学生の間で、ゼミを行う毎に指導を受ける。
最終評価を知りたい学生については個別に開示する。

参考文献

各ゼミの担当教員が適宜提示する。

講義時使用テキスト

各ゼミの担当教員が必要に応じて提示する。

資格との関連

実務との関連

指導教員全員、看護師または保健師として実務経験があり、それにもと
づいて看護研究の指導を行っている。

学生へのメッセージ

授業計画表

[illegible]

講義名	4020074000 公衆衛生看護支援論Ⅰ						
年度	2024	開講時期	前期後半	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者) 柴生田 英香				

学習目標 (到達目標)

- 1) 健康教育の基礎理論を理解できる。
- 2) 地域の健康課題から対象者に適した健康教育を企画立案し、事例を用いて実践できる。
- 3) 評価の手法を理解し、実施した健康教育を評価できる。

授業概要 (教育目的)

健康教育に必要な基礎理論を学修し、対象集団の行動変容を促す健康教育を展開する技法を学ぶ。設定された事例から、対象者の特性に応じた健康教育について、グループワークを通してを企画立案する。企画立案した内容から、適切な媒体を選択し、健康教育を実施、評価する。これにより、健康教育の理論を理解し、対象者の特性に応じた健康教育技術を修得することを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

評価方法

筆記試験およびレポート、グループワークの成果(企画書、指導案、作成媒体、実施内容、評価)等により、総合的に評価する。

講義時使用テキスト

荒賀直子ほか編：公衆衛生看護学.jp、インターメディカル

資格との関連

本科目は、公衆衛生看護学(保健師国家試験受験資格)を選択し選択された学生の必修科目となっている。

実務との関連

都道府県および市町村保健師としての経験を持つ教員および看護職として患者教育に携わった経験のある教員が担当する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	講義：健康教育とは、	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をととしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
2	講義：健康教育に必要な基礎理論	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をととしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
3	講義：健康教育の教育技術、教育媒体、	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をととしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
4	講義：健康教育の企画立案、実施、評価	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をととしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
5	グループワーク：健康課題抽出、健康教育の目的・目標設定、企画立案	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をととしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
6	グループワーク：健康教育指導案作成	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をととしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
7	グループワーク：健康教育指導案作成	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をととしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
8	グループワーク：健康教育指導案作成	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をととしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
9	グループワーク：健康教育指導案作成	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をととしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
10	グループワーク：健康教育媒体の検討、選択	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をととしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
11	グループワーク：健康教育媒体の検討、選択	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をととしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
12	グループワーク：健康教育媒体の検討、選択	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をととしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
13	グループワーク：健康教育指導案の修正	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をととしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。

講義名	4020075000 公衆衛生看護支援論Ⅱ						
年度	2024	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者) 柴生田 英香				

学習目標 (到達目標)

1) 公衆衛生看護における対人支援活動の目的および基礎理論を理解できる。
2) 公衆衛生看護における対人支援について、根拠に基づいた技術を事例を用いて展開できる。
3) グループ支援・地域組織活動の展開とグループの発展段階に応じた保健師の役割を説明できる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

評価方法

レポート、グループワークの実施状況等により、総合的に評価する。

講義時使用テキスト

荒賀直子ほか編：公衆衛生看護学.jp、インターメディカル

資格との関連

本科目は、公衆衛生看護学(保健師国家試験受験資格)を選択し選択された学生の必修科目となっている。

実務との関連

都道府県および市町村保健師としての経験を持つ教員および看護職として対象支援に携わった経験のある教員が担当する。

授業概要 (教育目的)

公衆衛生看護における対人支援活動に必要な基礎理論を学修し、事例検討や演習を通じて家庭訪問や健康診査場面等での保健指導技術を学ぶ。また、地域組織活動などのグループ支援について、地域特性やグループの発展段階に応じた保健師の役割について、事例検討や演習を通じて実践的に学ぶ。これにより、公衆衛生看護における対人支援活動の目的および基礎理論を理解し、対象者や地域特性に応じた保健指導、地域組織活動支援技術を修得することを目的とする。

課題に対するフィードバック

課題(レポート等)は次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。また、コメントして返却する。

参考文献

中村裕美子著：標準保健師講座・2 公衆衛生看護技術、医学書院
松田正己著：標準保健師講座・3 対象別公衆衛生看護活動、医学書院
岸恵美子ほか編：保健師学講座2 公衆衛生看護支援技術、メデカルフレンド社
佐伯和子ほか編：公衆衛生看護学テキスト2 公衆衛生看護の方法と技術、医歯薬出版
※その他、参考となる書籍や文献等は授業中に適宜紹介する。

学生へのメッセージ

授業計画表

	内容	予習	復習
1	講義：公衆衛生看護における対人支援活動の目的	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
2	講義：公衆衛生看護における対人支援活動に必要な基礎理論	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
3	講義：対人支援活動の場(家庭訪問、健康診査、地域組織活動)	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
4	講義：対人支援活動技術(保健指導、グループ支援)	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
5	演習：健康相談、特定健診と特定保健指導①	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
6	演習：健康相談、特定健診と特定保健指導②	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
7	演習：健康相談、特定健診と特定保健指導③	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
8	演習：家庭訪問、新生児訪問①	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
9	演習：家庭訪問、新生児訪問②	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
10	演習：保健指導、乳児健診①	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
11	演習：保健指導、乳児健診②	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
12	演習：保健指導、1歳6か月児健診①	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
13	演習：保健指導、1歳6か月児健診②	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。

講義名	4020076000 公衆衛生看護活動展開論Ⅰ						
年度	2024	開講時期	前期後半	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	看護学科		担当教員(単位認定者)		古舘 美喜子		

学習目標 (到達目標)

1)さまざまな対象に対する公衆衛生看護援助の基礎的知識について説明できる。
2)さまざまな健康状況・生活状況にある対象に対する公衆衛生看護援助の基礎的知識と方法について説明できる。
3)対象や健康課題に応じた生活の特徴から、健康課題および支援の特徴・方向性について説明できる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

評価方法

筆記試験およびレポート、授業中の発言やグループワークの状況(参加度・貢献度・発言や取り組みの状況等)等により、総合的に評価する。

講義時使用テキスト

荒賀直子、他編:公衆衛生看護学 .jp、インターメディカル

資格との関連

本科目は、公衆衛生看護学(保健師国家試験受験資格)を選択し選択された学生の必修科目となっている。

実務との関連

看護職として医療機関に勤務。実務経験をもとに公衆衛生看護活動展開論Ⅰに関する講義を行う。

授業概要 (教育目的)

さまざまな対象に対して公衆衛生看護活動を展開できるように、その理論と方法を教授する。親子(母子)保健活動、成人保健活動、高齢者保健活動、精神保健活動、障がい者(児)保健活動、難病保健活動、感染症保健活動、歯科保健活動、学校保健活動、産業保健活動、地域包括ケア等について、事例や実践例を用いて実践的に教授する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート等)は次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。また、コメントして返却する。

参考文献

標美奈子著:標準保健師講座・1 公衆衛生看護学概論、医学書院
中村裕美子著:標準保健師講座・2 公衆衛生看護技術、医学書院
松田正己著:標準保健師講座・3 対象別公衆衛生看護活動、医学書院
上野昌江、他編:公衆衛生看護学、中央法規
井伊久美子、他著:保健師業務要覧、日本看護協会出版会
厚生労働統計協会:厚生指標増刊 国民衛生の動向、厚生労働統計協会
日本公衆衛生協会:衛生行政大要、日本公衆衛生協会
※その他、参考となる書籍や文献等は授業中に適宜紹介する。

学生へのメッセージ

授業計画表

	内容	予習	復習
1	地域保健活動における対象アプローチ:発達段階と健康課題および保健サービス	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
2	対象別:母子保健活動①	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
3	対象別:母子保健活動②	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
4	対象別:高齢者保健活動①	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
5	対象別:高齢者保健活動②	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
6	対象別:成人保健活動①	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
7	対象別:成人保健活動② 健康課題別:歯科保健活動	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
8	健康課題別:感染症保健活動	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
9	健康課題別::障害者(児)保健活動	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
10	健康課題別:精神保健活動	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
11	健康課題別:難病保健活動	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
12	対象別:産業保健活動①	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
13	対象別:産業保健活動の実際	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。

講義名	4020077000 公衆衛生看護活動展開論Ⅱ						
年度	2024	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	3
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	古舘 美喜子		

学習目標 (到達目標)

1)地域保健活動家庭について理解し、地域診断のプロセスを理解できる。地域診断の家庭から、地域に頭在・潜在する健康課題を導きだすと同時に、その課題について住民とのパートナーシップのもと、効果的な介入の展開方法について検討することができる。
2)二次資料を活用して、実習時に収集する情報等を整理し、実習地域における地域診断を展開、現時点での健康問題を明確にし、問題解決のための方策・施策化について考えることができる。

授業概要 (教育目的)

地域におけるヘルスケアシステムの構築等の基本的な公衆衛生看護の支援技術として、地域全体のヘルスケアシステムの向上を目指す地域診断を理解し、公衆衛生看護活動計画における理論と、立案・実施・評価の一連の過程について、具体例を用いて学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

評価方法

作成した地域診断の内容、授業中の発言やグループワークの状況(参加度・貢献度・発言や取り組みの状況等)等により、総合的に評価する。

講義時使用テキスト

荒賀直子、他編：公衆衛生看護学 .jp、インターメディカル

資格との関連

本科目は、公衆衛生看護学(保健師国家試験受験資格)を選択し選択された学生の必修科目となっている。

実務との関連

看護職として医療機関に勤務、実務経験をもとに公衆衛生看護展開論Ⅱに関する講義・演習を行う。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	秋学期演習ガイダンス(オリエンテーション) 実習地区における地域診断の進め方	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
2	地域診断①公衆衛生看護活動における地域保健活動家庭の理解と地域診断	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
3	地域診断②公衆衛生看護活動における地域保健活動家庭の理解と地域診断	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
4	地域診断③地域診断の展開：コミュニティ・アズ・パートナーモデルとは	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
5	地域診断の実際：既存資料を活用した地域診断の作成① コミュニティコアの特定と情報収集と整理	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
6	地域診断の実際：既存資料を活用した地域診断の作成② コミュニティコアの特定と情報収集と整理	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
7	地域診断の実際：既存資料を活用した地域診断の作成③ コミュニティコアの特定と情報収集と整理、アセスメント	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
8	地域診断の実際：既存資料を活用した地域診断の作成④ コミュニティコアの特定と情報収集と整理、アセスメント	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
9	地域診断の実際：既存資料を活用した地域診断の作成⑤ コミュニティコアに基づいた情報収集と整理、アセスメント	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
10	地域診断の実際：既存資料を活用した地域診断の作成⑥ コミュニティコアに基づいた情報収集と整理、アセスメント	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
11	地域診断の実際：既存資料を活用した地域診断の作成⑦ アセスメントの統合と健康課題の検討、問題解決のための方策の考察	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
12	地域診断の実際：既存資料を活用した地域診断の作成⑧ アセスメントの統合と健康課題の検討、問題解決のための方策の考察	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。
13	地域診断の実際：既存資料を活用した地域診断の作成⑨ アセスメントの統合と健康課題の検討、問題解決のための方策の考察	各授業内容の該当部分のテキストは、必ず一度目をとしてから、授業に望むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びをシェアすることができるように準備して授業に臨むこと。自己の学びの整理、振り返り等のためにポートフォリオを作成する。前回までの授業内容の理解を確認するため小テストの実施や課題を出す場合がある。

講義名	4020079000 コミュニケーション論						
年度	2024	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	田中 克枝		

學習目標(到達目標)

1. コミュニケーションの基本的な技術を理解できる。
2. コミュニケーションの種類や技法を理解し、人間関係を構築するコミュニケーションについて考えることができる。
3. 看護におけるコミュニケーションについて、効果的なコミュニケーション技術を活用できる。
4. 演習(グループワーク、ロールプレイ)を通して、良好なコミュニケーションのあり方を考えることができる。

授業概要(教育目的)

情報通信技術の発達に伴い、学生は友人との直接的な関わりも少なく、SNS(ソーシャルネットワークサービス)を利用していることが多くなっている現状がある。看護職は人間と人間の接する職業であり、効果的なコミュニケーション技術は必要としている。本授業では基本的なコミュニケーション技術の修得、グループディスカッションでのアサーティブな発言の仕方などを学び、演習を通して良好な人間関係を構築できるコミュニケーションのあり方を考える。

卒業認定・学位授与の方針との関連

必修科目

評価方法

期末試験(70%)と演習等の活動状況(30%)を総合的に判断する。

課題に対するフィードバック

試験結果等を知りたい時は個別で情報開示する。

参考文献

- 1) 諏訪茂樹編:看護のためのコミュニケーションと人間関係, 中央法規, 2019.
2) 茂野香おる・今井宏美:系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学 [2] 基礎看護技術, p21-62, 2021.
3) 渡部富実:対人コミュニケーション入門 看護のパワーアップにつながる理論と技術, ライフサポート社, 2019.

講義時使用テキスト

篠崎恵美子・藤井徹也：看護コミュニケーション 基礎から学ぶスキルとトレーニング 第2版，医学書院，2022.

資格との関連

実務との関連

担当教員は看護師としての実務経験があり、実務経験をもとに教授する。

学生へのメッセージ

毎回、授業の後半は演習を行います。いろんな人に関心をもち、よく観察しましょう。そして、円滑なコミュニケーションができるよう、積極的に講義・演習に参加しましょう。

授業計画表

[illegible]

講義名	4020080000 基礎看護学実習Ⅲ						
年度	2024	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	看護学科			担当教員(単位認定者)	小沢 久美子		

學習目標(到達目標)

1. 受け持ち患者について、身体的・精神的・社会的側面から捉えることができる。
2. 受け持ち患者の看護について、看護過程を用いて整理することができる。
3. 倫理的配慮のもとに日常生活の援助を実践し、振り返ることができる。
4. 看護を学ぶ学生としての学習姿勢を身につける。

授業概要(教育目的)

医療施設における患者の療養生活を理解し、看護実践を通して、対象に適した看護を実践するための看護過程の展開方法を学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

科学的な根拠に基づく基礎的看護ケアを実践し、多くの医療関係職種と連携・協働して看護の役割を判断し行動する能力を身につけている。

評価方法

実習評価表にもとづいて評価する。

課題に対するフィードバック

- ・事前課題(予習)、実習記録、事後課題レポートについては、コメントまたは面談によりフィードバックする。また実習中はカンファレンスを行い、実習目標に沿って振り返りを行う。
- ・成績評価について自己評価をしてもらい、良かった点と今後の課題について個々にフィードバックを行う。

参考文献

適宜紹介する。

講義時使用テキスト

授業で使ったテキスト、参考文献、資料の全て。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

看護師として総合病院に勤務。臨床経験をもとに受け持ち患者の看護について理解が深まるように助言する。

授業計画表

[illegible]

